



大正初期の談山神社 大和名勝写真帖より



昭和46年頃 談山神社 写真撮影：秦峰一氏



現在の談山神社

【34】談山神社

●大正初期の談山神社 大和名勝写真帖より文引用

南正面よりみた全景なり。祠は藤原鎌足を祀りたる別格官幣社にして、境地幽閑、桜楓俱に好く、祠宇荘麗、世に「関西の日光」と称す。圖中、中央の繁山は「談所が森」また「語らひ山」と称し、中大兄王の鎌足と蘇我氏誅滅の謀略を立てられたる地と伝へ、談山の名の依って出づる所なり。中央石段の右なるは拝殿本殿等の一構、左方十三重塔は鎌足廟とす。